国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ　WEEKLY REPORT MIURA RC

三浦ロータリークラブ週報

ロータリーは
分かちあいの心

07～'08年度RIﾃｰﾏ

◇ 国際ロータリー会長
Wilfrid J.Wilkinson ｳｨﾙﾌﾘｯﾄﾞJ.ｳｲﾙｷﾝｿﾝ
(ｶﾅﾀﾞ.ﾄﾚﾝﾄﾝRC)

◇ 国際ロータリー第2780地区ガバナー
小佐野 圭三 (横須賀RC)

◇ 国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐 渡辺 治夫 (横須賀RC)

◇ 三浦ロータリークラブ
会長 鈴木正孝
副会長 吉田重穂
会長ﾉﾐﾆｰ 鈴木康仁
幹事 芹川直行

◇ 会報.雑誌.IT委員会
委員長 加藤文幸
副委員長 内藤隆之
委員 星野 雄

◇ 例会日 毎週木曜日12時30分点鐘
◇ 例会場 三浦商工会議3階ホール
◇ 例会場所＆事務所住所
〒238-0243三浦市三崎2丁目22番16号
◇ Tel 046(881)5111 * Fax 046(881)3346
◇ **Website * http://www.miura-rc.jp**

ニコニコBOX集計報告

	本日	前回迄	累計
ニコニコ	19,000円	453,000円	472,000円
財団	8,000円	106,000円	114,000円
ポリオ	1,000円	41,000円	42,000円
米山	3,000円	102,000円	105,000円
周年	1,000円	14,000円	15,000円
計	32,000円	716,000円	748,000円

２００８年４月１０日 第２２６９回 例会

◇ 点鐘 １２時３０分
◇ ロータリーソング『我らのなりわい』
◇ ゲスト・ビジター紹介
救急救命士 菅本 剣一 様
ガールスカウト神奈川第11団代表 八木 凌子 様

◇ 1.会長報告 鈴木 正孝 会長

皆様こんにちは。
今日は非常に寒くて、暑さ寒さも彼岸までといいますが、今日はコートを着てこようかなと思いました。
本日は、救命救急士の菅本さんに来て頂いておりますが、先日、消防署にお邪魔を致しまして、普段見ることの出来ない消防署の内部やシステムを拝見させて頂き非常に興味深く楽しまさせて戴きました。
その時のお話しでは、ヘリコプターで伊勢原から三浦まで15分、三浦から横浜市大まで5分と非常スピードは早く患者さんを移動できると伺いましたが、ご承知のように患者さんが運ばれてもそこにドクターが居ない、これでは本末転倒であって、大阪の例のように、たらい回しにあい患者さんが死亡するようなことにもなります。
そのように搬送はスピーデイでも医師不足のため、患者に影響が出るということは感じております。
そのところえお今日は菅本さんにお話しを頂ければと思っております。
宜しくお願い申し上げます。

ｶﾞｰﾙｽｶｳﾄ代表八木凌子さんと管本剣一救命救急士

◇２.幹事報告　芦川 直行 幹事

※週報　　横須賀北・横須賀西ロータリークラブ
※ＪＩＣＡ
※オクトン　ロータリーカタログ

◇３.出席報告　岩野　整委員長

会員総数２９名　本日出席１５名
本日欠席１２名出席率は５５．５％
ＭＡＫＥ　ＵＰ
鈴木正孝会員、芦川会員、高木会員、秋本会員、本山会員、吉田益夫会員、鈴木康仁会員、各１回により、出席率は８１．４％となります。

◇ ４.ニコニコBOX報告 川﨑 昇 委員長

鈴木正孝　1,000円　菅本さん、今日はよろしくお願いします。加藤さんおめでとうございます。お待ちしておりました。八木さんようこそ！！
芦川直行　2,000円　加藤さん無事御退院おめでとうございます。菅本さん、今日はよろしくお願い致します。
加藤文幸　5,000円　長期欠席のお詫びと週報に穴を開けたお詫び。
松崎貞男　1,000円　加藤さん退院おめでとうございます。本日早退のお詫び。
高木　巖　1,000円　加藤さんよくなってよかったです。夜間例会の写真ありがとうございます。
鈴木康仁　1,000円　加藤さん退院おめでとうございます。又、写真ありがとうございます。
柳澤克臣　1,000円　加藤さん退院おめでとうございます。菅本様本日卓話宜しくお願いします。
星野　雄　1,000円　加藤さん無事お帰りおめでとうございます。これで会報委員会もやれやれです。　先日の夜間例会の写真ありがとうございました。
秋本清道　1,000円　写真のお礼。
本山　誠　1,000円　加藤さんお久しぶりです。加藤さんがいると会員が１０人増えたくらいにぎやかです。
村山智城　3,000円　先週欠席のお詫び。
川﨑　昇　1,000円　加藤さんおかえりなさい。
鈴木正孝　1,000円　財団BOX
芦川直行　1,000円　財団BOX
加藤文幸　2,000円　財団BOX
吉田益夫　1,000円　財団BOX　加藤さん退院お目出度う御座います。益々がんばって下さい。
松崎貞男　1,000円　財団BOX
高木　巖　1,000円　財団BOX
鈴木康仁　1,000円　財団BOX
加藤文幸　1,000円　ポリオ撲滅BOX
芦川直行　1,000円　米山財団BOX
芦川直行　1,000円　周年特別BOX

◇５.卓話　「救命士になるまで」について

三浦市消防署警備課
救急救命士　菅本剣一

平成12年５月に救命士になる

現在、消防署では12名の救命士、3月に受験し結果待ち1名9月から研修所に出向者が1名です。

救命士の資格を取得する前には

県の消防学校で救急隊員資格取得講習を受講して、救急車に乗車し応急処置ができるように約２ヶ月間（250時間）かけて勉強します。

救命士養成所に入校するには

標準課程、入署から5年または救急車に2000時間以上乗車経験が必要です。

救命士の研修所とは

財団法人で実施しているところは、東京研修所（八王子の南大沢）と九州研修所（北九州市）の2ヶ所です。それとは別に東京消防庁や横浜防災局といった大きな組織では独自に養成所を設け育成している機関もあります。
研修期間は、私のときは約6ヶ月間だったのですが、現在は7ヶ月間になりました。
研修所は、全寮制で北は北海道、南は沖縄まで全国から300名の研修生が集まります。
生活は、朝8：30～17：00まで講義や実技訓練を行い、17時以降は自由時間になります。外出も門限0時を守ればOKです。
　ただ、自由といっても本当に自由にしていると勉強に追いつけなくなるので、必死に勉強します。私は、不安だらけだったので毎日夜遅くまで勉強をしました。
　勉強についてですが、今まで救急隊として得た知識はありましたが、救命士になるための勉強は並大抵ではありませんでした。ひとつのことを覚えてもダメで、例えば、頭１つにしても、頭の中の構造を覚え、どんな組織なのか、どんな働きをして、どんな役目をするのか、どんな病気があるのか、その症状はどんなふうになるのか、人体の他の組織に及ぼす影響は何なのか等を勉強しなければなりません。
最初のうちは、いくら勉強をしても人体の1組織としての点ばかりで、色々なところに繋がっていかず、苦労をしました。でも、その積み重ねをしていくうちに、入校して2～3ヶ月位経った頃のある時、今まで点であったものが、人の体全体を捉えれるようになり、人体をひとつの線として捕らえることができるようになりました。それからは、なかなか先の見えない勉強を続けていたのが、
楽しくも感じました。

また、毎日授業前にミニテストを行い、1ヶ月に最低1回は模擬試験を行っていました。赤点を取ると補習授業なんかもありました。幸い私は補習授業を受けなくてよい点を取ることができました。研修所では、卒業試験もあり、これに合格をして卒業できないと国家試験の受験資格をもれえません。

研修所生活での不安について

やはり1番は救命士試験に合格することです。それも、研修生300名の中で不合格者は数名しかいないと聞かされ、三浦市においては私以前に受験をした先輩方は全員合格、周りの横須賀、逗子、葉山、鎌倉においても、神奈川県下でも、不合格者は出でいなかったから、私が第1号という不名誉なことはできませんでした。なんとしてでも合格をもぎ取るという重圧はかなりのものでした。

あとは、卒業も間近になると現地に戻ったときの不安もありました。

知識や手技は数段アップしている自信はありましたが、6ヶ月間も現場から離れていたので、また以前のような活動をできるかも不安でした。

不安な事ではないのですが、困ったことは、日本全国から研修生がいるので、方言が分からないときにはコミュニケーションが取りにくいときがありました。関西弁くらいならまだわかるのですが、東北弁は聞き取ろうという気持ちがあっても、分からない時がありました。普段生活なら良いのですが、訓練中などで夢中になっているときなどは、方言で活動の指示などをされると動けなくなるときもありました。

あと、この体型いっても何なんですが、勉強ばかりしていたので、太りました。入校当時はズボンに余裕があったのに、卒業するころにはパンパンになっていました。どうしても、食べることがストレスのはけ口になっていたのかも知れません。

苦しいことばかりではない

研修所生活は、実際入校しているときは大変なことも多かったけれど、今思い返せば楽しいこともありました。

まずは、苦楽を共にした仲間です。周りを蹴落とす受験ではなかったので、みんなで一つの目標に向かい頑張ったことは大変貴重なことだと思いました。

勉強を教わったり、教えたり、悩みを相談したり、聞いてもらったり、時にはみんなでお酒を飲んで親交を深めたりと本当に一生の友情が芽生えました。だからこそですが、今の私があると思っています。そして、その全国にいる仲間は、今でも困ったときや情報交換などを気兼ねなく行える仲間です。

一生懸命やるということ

研修中は、努力を惜しまず死に物狂いで勉強しました。努力は報われるということを学びました。

こうして幾多の難関を乗り越え、多くのことを学び、友情を深めた研修所を卒業し平成１２年5月19日に晴れて救急救命士に合格にいたりました。

合格をした後は、病院での実習を約１ヶ月間行い始めて救急救命士として救急車に乗車ができます。

それから月日は流れ平成16年には、救命士による救命処置が拡大され気管挿管が実施できるようになりました。私は同年に県の消防学校で62時間の講習を受講し、筆記および実技の試験を合格しました。そうすると、実技研修として実際に気管挿管を全身麻酔で手術を受ける方に日本麻酔科学会専門医の指導のもと実施するのですが、患者さんに同意を得るのが一苦労でした。当然かもしれませんでしたが、同意をしてくれる方もいましたが、やんわりと断られたり、すっぱりと断られたりと同意を得ることがまず最初に大変でした。

また、手術を行う患者の生体に行うわけですから何かあってはならないという責任は、いくら指導医の先生がいたとしてもありました。なので、手技の練習は、人形をつかって何十回も何百回もおこないました。でも生体で行うものにはかないません。

それからまたまた月日は流れ平成18年に、薬剤投与といって心肺停止者に強心剤を打つことができることになり、また研修所に行くことになりました。今度は、九州研修所に約1ヶ月間出向です。ここでは、再度基礎訓練からみっちりと毎日おこないました。班編成で、実技試験を行うので夜遅くまで練習しました。また、なれない土地での生活だったのでホームシックにもかかりそうでした。

現場で思うこと　チームワーク

現場ではマンパワーは、3名

日ごろの訓練なしには成功しない

現場での滞在時間、

限られたスペースを有効に使う。

なるべく早く医療機関へ

患者・家族と初めて接触するのは救急隊

コミュニケーション　ファーストインプレッション

医師・看護師との関係

コミュニケーション

顔の見える関係なしでは指示要請はどちらも出せない。

病院選定

患者にあった病院を選定しなければ救命できない。

安全管理

事故種別によって、交通・加害・自損・水難・自然災害等

医療訴訟

特定行為の確実性挿管は訴訟になっている

スキルの維持

今後の展望

より良い医療の提供

地域格差

少なくとも三浦市の救急隊どことでも同じ